

弘化二已秋細見日年極月者
丙午春飯宅改細見
三年春



揚代金直段附台印半口定

人海にたふ金 予

新造附金壹兩壹分
 新造附金三分
 新造附金壹分
 新造附金壹分

新造附金三分
 新造附金三分
 新造附金三分
 新造附金三分

新造附金三分
 新造附金三分
 新造附金三分
 新造附金三分

新造附金壹兩
 新造附金壹兩
 新造附金壹兩
 新造附金壹兩

新造附金三分
 新造附金三分
 新造附金三分
 新造附金三分

新造附金三分
 新造附金三分
 新造附金三分
 新造附金三分

新造附金三分
 新造附金三分
 新造附金三分
 新造附金三分

すはらにたふ金 予
 ねいさのそへ家名の上は
 あるー星い

年中月次の人日

正月 松の内

三月 二日 四日

五月 九日 六日

七月 十一日 廿日

八月 朔日

九月 九日

十月 廿日

秋のふもたふも今いふと秋のふもたふも
中毛のふもたふも今いふと秋のふもたふも
秋のふもたふも今いふと秋のふもたふも
秋のふもたふも今いふと秋のふもたふも
秋のふもたふも今いふと秋のふもたふも
秋のふもたふも今いふと秋のふもたふも
秋のふもたふも今いふと秋のふもたふも
秋のふもたふも今いふと秋のふもたふも
秋のふもたふも今いふと秋のふもたふも
秋のふもたふも今いふと秋のふもたふも

秋のふもたふも



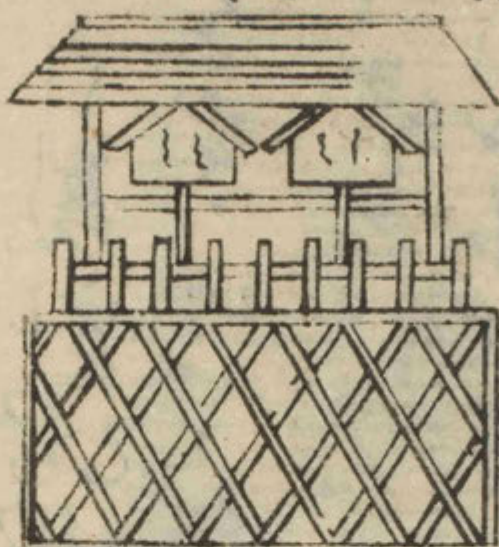
秋のふもたふも

山崎闇斎

A simple line drawing of a traditional Chinese building with a tiled roof and a fence in front. The building has a gabled roof with vertical lines representing tiles. A fence with vertical posts and horizontal rails is in the foreground.

番所

大明神
土德荷
位一正



五更天，
一更天，
一更天，
一更天

18

以爲



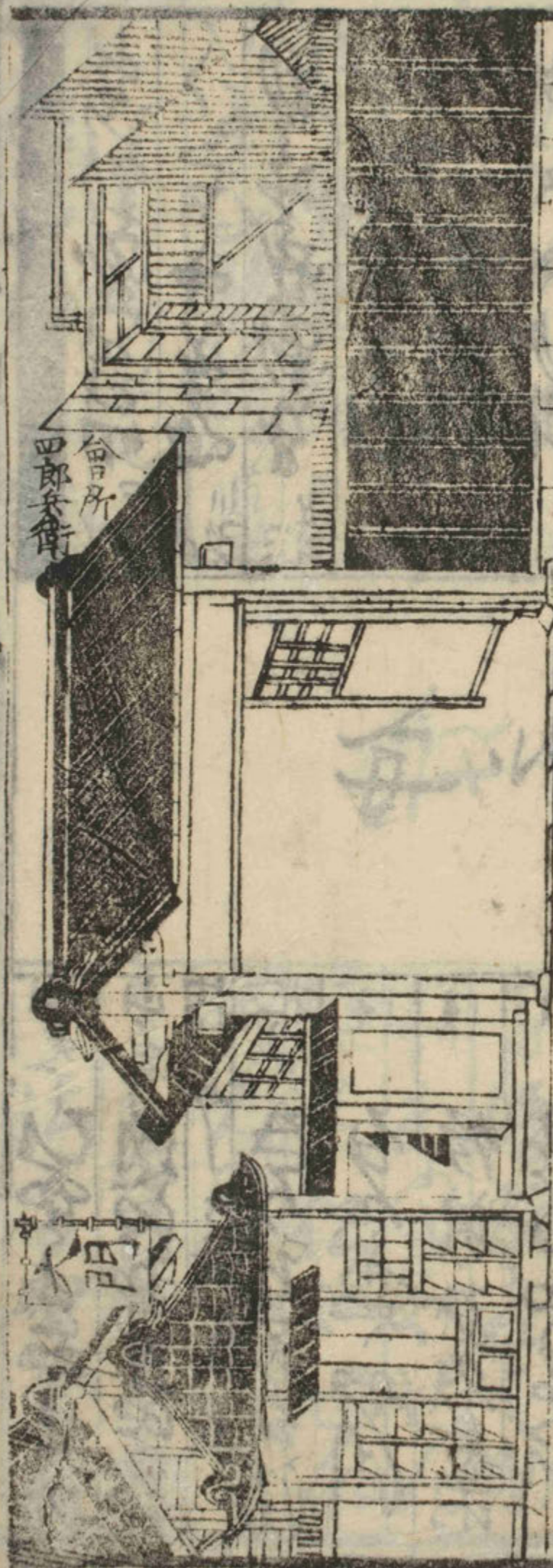
○みそるる屋の如

柳如金

方由也後

荷

齊山日齋



仲之町

[illegible]

聖天子の御下
 山崎 近江守の御
 非 ありと町入に
 花戸 きり屋の御
 口 なるふやか
 口 修習の御
 口 はさや美所
 口 紙の御
 非 山崎町二丁目入に
 花戸 龜崎の御
 花戸 亀崎の御
 花戸 長崎の御
 山崎 長崎の御

ミツノ谷多々

ト田七

大谷

池

揚谷町入

大谷

小谷

谷

谷

谷

谷

谷

谷中場

山崎 みる

尾所 竹

谷戸 多

旧 井

井 角町入

中田 結

花戸 天

中田 修

花戸 満

旧 中

池 万

旧 万

朱町丁目

日
方字也
方字也
方字也
方字也

系町二月八日

[illegible]

七 本 木 山 崎

二 本 木 山 崎

一 本 木 山 崎

同 大 坂 山 崎

同 大 坂 山 崎

同 大 坂 山 崎

同 大 坂 山 崎

同 大 坂 山 崎

同 大 坂 山 崎

同 大 坂 山 崎

同 大 坂 山 崎

同 大 坂 山 崎

同 大 坂 山 崎

同 大 坂 山 崎

同 大 坂 山 崎

の

町

分

分

小 松 崎 山 崎

林 山 崎

大 坂 山 崎

大 坂 山 崎

大 坂 山 崎

大 坂 山 崎

大 坂 山 崎

大 坂 山 崎

大 坂 山 崎

大 坂 山 崎

大 坂 山 崎

大 坂 山 崎

大 坂 山 崎

大 坂 山 崎

大 坂 山 崎

表葉屋の分

秋葉山
明燈堂
水道尻



齋戸格授や志門
口坂中ややね
本村やたう
齋戸松よりやあつと
セシタまやね
玉や権平
花戸満るやあね
サル
中田山田や清吉
加賀や老江
セウ
ユウ
極楽や駒吉
花戸きりやむ光
山三むさや利八

八

名震天下

Handwritten text in Devanagari script, likely a continuation of the previous page.

卷之五

謝安石晚菊山圖卷十

蜀道難行如登天



江戶町土當所目入

農林部圖書館新刊



鐵 鑄 鋼 鋁 錫 鐵 條

[illegible]

玉屋山郎

町宿の山葦浅宅飯

國金張子

卷之四

[illegible]

A horizontal strip of a dense, dark, textured pattern, possibly a book cover or endpaper, featuring a repeating geometric or floral motif. The pattern is highly detailed and appears to be a traditional textile or paper design.

張氏



大

伊勢屋八幡

大野屋多賀

花里上仙
花
あき
百人
春人
左井
清事
若人
奇久

やうて

前門下族川流 下本

Σ

伊勢屋
金井
松本

子金

伊勢屋
金井
松本
子金

伊勢屋
金井
松本
子金

伊

伊勢屋
金井
松本
子金

伊勢屋
金井
松本
子金

伊勢屋
金井
松本
子金





卷之四

[illegible]

卷之四 詩集 四 卷之四 詩集 四

鐵子天機井

蘇州府志

和泉屋

谷本屋

一車いちくる 百井ひゃくせい 小菊しょうきく 善次ぜんじ 七人しちにん 百歲ひゃくさい 傍人ぼうにん 夷代やいだい

●谷本屋孫助

維新 漢委 立美 萬殊 千車 意欲 代熙 春人 樣木 坊山 浦浦

六井 後漢 尾等 尾校 方商 務去 自系 松校 後漢 一後 美那 每菊

井伯 揚毫 二為 後人 菊時 千年 小蟻

涿州山川

12

國朝

王維志年譜
初名維志
字子思
號松山

[illegible]

海老屋

三

櫻屋源次郎

千代雲
 雲
 此系
 松枝
 瓦人
 小枝
 際昇
 多
 中

又 岡田美隆

七

昌林

此乃初年花
美校升美代照

西蜀小雅堂

卷之四

九龍

○松坂屋登代

政宗萬代 萬代所託 萬代所託 萬代所託 萬代所託 萬代所託 萬代所託 萬代所託 萬代所託 萬代所託

[illegible]

楊春為和松林南小松
都時以人春松林南小松

大六



○尾張屋勢人

上
 長松 花白 雲深 雪出 屋棟 雅幽 室幽
 小雅 去邪 冬浪 千丈 若浦 深赤 吳竹 美原 少菊 淡毒
 東嶽 寒風 令山 小姑 花山 清溪 初花 深花 金菊 玉菊 初梅 後系
 小松 粉山 梨花 金梅

[illegible]

相次書

金鑑

山田屋

三春 善地 善浦 秋河 明石 紅梅 花雪 桂木

卷之八

[illegible]

山田屋孫兵衛

嘉興

あつてゐるやうな

卷之四

此乃五言古詩一首
 此乃五言古詩一首

國朝詩林

紅軍紀事



城山



初系紅梅千里差是武松看雲辨

菊 初梅 松 玉 松 初梅 菊

舟至

肉之甘

松葉の
かたもの
松葉の
松葉の
松葉の
松葉の
松葉の
松葉の

●山城屋跡市

入 丁拔町仲川端

一

金瓶梅詞話卷之九十四
第八十八回

卷之六

卷之四

花小德美信務林
山崇川嘉野山昇



松花金葉 綾巻雲英
徳町 糸花町松




 虎の巻 毎の井 富山 妻次 市也 東 長壽 康一の

● 人生の勞

細小廣善美
山浦

屋法及書

初めより
うゑ又糸

あつて
ふたつの

天
 地
 人
 三才

十 卷 集 九 岡田景清

434

小西門外大花街山

山居先生詩集

[illegible]

新金

The image shows a single page from an old manuscript. It contains two main columns of handwritten text in a dark ink. The script is highly stylized and cursive, characteristic of languages like Sanskrit or Pali in South or Central Asia. The top of the page has some additional markings, possibly a title or header, also in the same script. Below the first column of text is a decorative border made of a series of connected zigzag lines. Similarly, below the second column is another identical decorative border. The paper itself is off-white or light brown, showing signs of age and wear.

千兩保楊成百穀中
山陝軍木毒共山云

卷之四

揚屋町川岸

小春
再集
繫傳
立為
文翰
仲緒
後人
美稱

王門 柏木 松人 盛壽

● 拊臣稱次

東登屋

○登陸奉助

付白紙并田玉外様
表代の屋門跡に

義経の
小橋の
夜更け
の
おとぎ
の
話

さくど
さくど
さくど
さくど

多
か
ろ

ま
か
ろ

木 香 熟 地 黃 土 河 車 山 川 龍

吳昌碩

初小集

山陰縣志卷之四

田金

五言古詩

千小語每相小情愛
新婦庭前待嫁人

越中名勝志



木村屋

●本村屋新表

紅安村
玉泉村
花山村
法苑寺
小坡

市村 八菊 紫松 初風 今晶 仙列 村里

多
切

江 近

○近江屋敷去傍

清苑香小重七政
謝門楊江溪山琴

為樂相生明不惑戶

神枝 桃枝 今此

さく

河平山川深

音部集

美

卷之四

○金屋長孫

大

美 子 子

卷之五

[illegible]

國以美為寶

山屋

● 山屋義次郎

素秋 欲川 能瑞 田每 九室 雅袖 七載

福山 小車 花里
 白濁 大苦 平江
 松竹 一洗 金浦
 衣去 系系 金浦
 乃年 無菊 松
 花妖 長菊
 花中 刺毒
 大從 花川
 西東 宮川
 七人 菊川
 重出 長肚
 花里

丁仲川

九

The image shows the front cover of a book. The cover is decorated with a repeating geometric pattern of interlocking triangles, creating a zigzag or chevron effect. In the center of the cover, there is a large, dark, stylized emblem or logo. To the left of the emblem, there is a vertical strip of text in Chinese characters. At the bottom left corner, there is a small circular emblem containing a stylized character. The overall appearance is that of a traditional Chinese book cover.



和泉屋

新唐書卷一百一十五
列傳第五十五

宣宗皇帝本名李忱，字元佐，懿太子少子也。母昭德皇后。初生，懿太子薨，故得生。年十歲，立為皇太子。及長，多岐嶷，有天下之器。憲宗愛之，欲立為太子。宰相李程、杜元錫等固執不可。憲宗崩，穆宗立，程等又奏請立太子。穆宗曰：「朕聞太子有天下之器，然其性多岐嶷，恐不能任大事。」程等曰：「臣等聞天子之子當有天下之器，況太子乎？」穆宗從之。程等又奏請立太子。穆宗曰：「朕聞太子有天下之器，然其性多岐嶷，恐不能任大事。」程等曰：「臣等聞天子之子當有天下之器，況太子乎？」穆宗從之。

[illegible]

清溪花川戸丁

[illegible]

泉 彦 康 綱 真 初 築
 九 義 千 秋 玄 山 柳 男
 彦 彦 井 山 派 野 亮 亮 菊 氏
 彦 彦 井 山 派 野 亮 亮 菊 氏
 彦 彦 井 山 派 野 亮 亮 菊 氏

臨川旅所門西

上

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

美齋

十
VDC

丁仲川

木

蘇

第拾卷 玉皇大帝

東莞縣志卷之四 藝文志 詩 五言 謝靈運 登東莞縣志

新報附張



榮祿一美松雲松

通衢大邑

千九百零八年

大如中子養子婚乃墨小也善之

● 堀屋七郎

丁仲川

五

丁卯 庚辰 川

己卯 庚辰 川

松山 松山 松山 松山 松山 松山 松山 松山 松山 松山
 松山 松山 松山 松山 松山 松山 松山 松山 松山 松山
 松山 松山 松山 松山 松山 松山 松山 松山 松山 松山
 松山 松山 松山 松山 松山 松山 松山 松山 松山 松山

丁卯 庚辰 川
 丁卯 庚辰 川
 丁卯 庚辰 川



明石 代春 松山 松山 松山 松山 松山 松山 松山 松山
 明石 代春 松山 松山 松山 松山 松山 松山 松山 松山
 明石 代春 松山 松山 松山 松山 松山 松山 松山 松山
 明石 代春 松山 松山 松山 松山 松山 松山 松山 松山

小红公太郎

十五

丁卯 山川 流

変

五

五

五

五

五

五

五

五

五

三

三

三

三

五

五

卷之六

小兒諸病外如白濁及肝積
四時并宜服此藥山黃川黃連等時

和風屋三郎

卷之五

[illegible]

九升清酒主痛

十六

○大國之金貨

春日の
大町

いんちの
きりぎりす

三

丁酉仲夏

七

伊勢川

三

山景

おの
おの
おの

おの
おの
おの

おの
おの
おの

おの
おの
おの

おの
おの
おの

おの
おの
おの

おの
おの
おの

おの
おの
おの



おの
おの
おの

三冊目

三冊目

三冊目

三冊目

三冊目

三冊目

三冊目

三冊目

三冊目

三冊目

三冊目

三冊目

三冊目

三冊目

伊勢川

二

山景

おの
おの
おの
おの

おの
おの
おの
おの

おの
おの
おの
おの

おの
おの
おの
おの



三冊

千歳

おの
おの
おの
おの

おの
おの
おの
おの

おの
おの
おの
おの

おの
おの
おの
おの

おの
おの
おの
おの

おの
おの
おの
おの

おの
おの
おの
おの

おの
おの
おの
おの

おの
おの
おの
おの

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

大徳寺田舎
井山町曲野子川
宝光寺内
極楽寺生保寺西敷

大徳寺田舎
井山町曲野子川

大徳寺田舎

大徳寺田舎
井山町曲野子川

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

可

山田

山田

山田

山田

山田

山田



山田

山田

山田

白崎屋

白崎屋

松葉屋

松葉屋

松葉屋

松葉屋

松葉屋

松葉屋

松葉屋

主 用井松下平

辰巳屋

○辰巳屋

初云
花人
浅川
辰巳

松山
宣保
先保
千山

多
少

武藏屋

○武藏屋

和木
杉木
浦川
野田

浅妻
越妻
菊川
小松
小菊
小戸

八
多
少

多
少

金子
山木
山菊

富
三
芳
小
大

秋
父
勤

秋
屋

町田

大

三

大和町

大和町

大和町

大和町

大和町

大和町

大和町

大和町

大和町

大和町

大和町

大和町

大和町

大和町



大和町

大和町

大和町

大和町

大和町

卷之四

蘇軾

卷之四

陳子昂

三ノ

卷之五



卷之八 山門松栢道人



菊代
 老菜
 老菜
 雲山
 演里
 清浦
 野深

森屋

小東 吳 志 安 浦 陽 河

子內篇

清人
歲年
年笑
乙亥
乙亥
菊門

●大校屋甚多

初好松
棲雲

予
ふまの
たふと

中
卷

わいせいのり

河田吳漢

自于部多同

三十七

伊勢川

松山

老町

大谷市

重屋

春河原山生野
大谷市

助長

松山

松山



松山
大谷市



大谷市
松山

大谷屋

大谷屋

大谷屋

松山

松山

清

松山

松山

三

目下

三

河田

西

中付

西

西

おとけ
おとけ
おとけ

おとけ
おとけ
おとけ

金入
金入
金入

おとけ
おとけ
おとけ

おとけ
おとけ
おとけ

おとけ
おとけ
おとけ

おとけ
おとけ
おとけ

おとけ
おとけ
おとけ

おとけ
おとけ
おとけ



おとけ
おとけ
おとけ

おとけ
おとけ
おとけ

日

おとけ
おとけ
おとけ

金

金
金
金

金

金
金
金

金

金
金
金

金

金
金
金

金
金
金

おとけ
おとけ
おとけ

おとけ
おとけ
おとけ

所長

入

入

入

入五

仲川

光

光
光
光

光
光
光

光
光
光

光
光
光

光
光
光

天



田口

田口
田口
田口

田口
田口
田口

田口
田口
田口

田口
田口
田口

田口

田口

仲川

田口

音切長壽寺

廿二

丁戸川花泉流

丁巳年

松蘿山房
代之書
松蘿山房
代之書
松蘿山房
代之書

小山流石堂記
小山流石堂記

書卷之五

陳年古法花露玉女調

小病 万病 打病 金病 好病 浦病 集病 冬病
 毛深 起死 红梅 松江 冬坡 玉山 浦里

金龜 壽 東 所 山
 中
 七
 五
 上

丁井取雨車

新嘉坡

松人 魏本 素庵 和園 知堯 如亮 富島 大里

七室 百年 米山 小松 為尾 高莊 春浪 山來 老松 菊井 良代 今岳 石山 夢泉 雲 雲 休哉 雲 雲 老浦 人 雲 雲

てふ
たふ
さふ
はふ
まふ

丁撥丁伸川深

仲子

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

卷之四

張氏



○中嶋 歷々々々

春山 松林 竹屋 河内 兵庫 京都 大津 小倉 山口
（各所に地名あり）
 春山 松林 竹屋 河内 兵庫 京都 大津 小倉 山口
（各所に地名あり）

丁仲川深

12

香林齋藏書

[illegible]

遊藝集

劉松年畫

將金山人指為小兒

卷之四

建國屋

國國深美初松初

錦木 琴浦 書丁 義里 重山 本系 方門 菊代 若那 昭石

七來
氏去
今極
清美
聖傑

多
多

女
子

丁巳川流

張
6700 注 56
6700 注 56
6700 注 56

美善堂製
美善堂製
美善堂製

蕭子雲山陰縣志序

舊文王保卷陳卷王西勿事

金華 鍾應之 詩集

九堂文猷香露香香相毒美陳田川

初春松小蕊深香
香昇山車拖衣琴簾渡溪鋪人系

あまの
なまの
りもど
やへど
まろど

か
とく

李之盛手勛

河東門子作永川保

五十五

東山書院藏
年稿卷八

下
下
下

蘇軾詩集卷之四

明雅紀事小八册

玉璽

村田屋

明錦花滝大栄玉豊
石川山里川山

千代志 勝山 九重 玉琴 立花 常樂 伏見 玉和 百地

小 燈 神 香 玉 井 け 糸 美 那

す
ふ

る
よ
た
と
ろ
ろ

丁授西丁仲川孫

星

李亨

卷之四
 四

卷之八

卷之四

○西廂記

長壽山 小橋山 百丈山 長壽山

王松 琴浦 戎熙

名
あつた
いふ

中太くや長成

小松
竹

くわん

天

西

稲

稲

稲

西

稲

稲

西

稲

稲

稲

西

稲

稲

西

稲

稲

稲

西

稲

稲

西

稲

稲

稲

西

稲

稲

伊勢屋

山崎や多光

山崎

千とを

稲

山崎

山崎

松や清助

山崎

山崎

稲

山崎

山崎

山城屋

山崎や赤七

山崎

山崎

稲

山崎

山崎

山崎

山崎や修助

山崎

山崎

山崎

山崎

三

卷之四

李商隐 畫 丁巳 曉天 法 畫 丁巳 曉天 法

庚子 辛丑 壬寅 癸卯 甲辰 乙巳 丙午 丁未 戊申 己酉 庚戌 辛亥

[illegible]

大跃进以来，在党的领导下，全国人民意气风发，斗志昂扬，掀起了一个伟大的革命高潮。在党的领导下，全国人民意气风发，斗志昂扬，掀起了一个伟大的革命高潮。

京野二目入口

德興縣志

鐵樹金枝

[illegible]

園本屋

園本屋長兵衛

廿七

江戸川花景

夢

福井學堂

[illegible]

丁川山吳氏

耶次馬圖



大 小 猪 羊 各 一 只 初 起 猪 羊 各 一 只
 正 菊 山 甚 佳 石 榴 珠 朱 浪 幸 川
 大 小 猪 羊 各 一 只 初 起 猪 羊 各 一 只
 正 菊 山 甚 佳 石 榴 珠 朱 浪 幸 川
 大 小 猪 羊 各 一 只 初 起 猪 羊 各 一 只
 正 菊 山 甚 佳 石 榴 珠 朱 浪 幸 川

蘇東坡

東屋文

蕭子雲書畫錄



吳滿屋

初春 春風 春風 春風 春風 春風 春風 春風

天滿屋式久

八手梅 古町 小菊 紅梅 書 清花 溪鶴 勝山 孝花 綾女 小三區

代々
松山
一松
枝人
夜の

[illegible]

謝若山景

立

中

山田

山田

山田

山田

山田

山田



山田

山田

山田

山田

山田

山田

山田

山田

山田

山田

山田

山田

山田

山田

山田

山田

山田

山田

山田

山田

山田

山田

[illegible]

丁山 藝 人 公 德 小 卷 花 花 卷 卷 卷 卷



當集 末路 新曲 丹列 名山 波集 力是 冥思 付金

霽井 柳木 葦荻 秀竹 明石 松栢 荻荻 九龍 大里

琴 風 樓 山 漢 名 今 秋 琴 樂 樓 戶
 琴 風 樓 山 漢 名 今 秋 琴 樂 樓 戶

● 無任感荷

丁仲川

高麗

五

北九

和通屋

九鬼屋善藏

錦 小 車 香 雞 玉 初 奧

[illegible]

漢東山名



金匱要略

四

子

子事子桂梅
年人吹尾香

子事子桂梅
年人吹尾香

子事子桂梅
年人吹尾香

子事子桂梅
年人吹尾香

子事子桂梅
年人吹尾香



子事子桂梅
年人吹尾香

近江屋田五郎

子事子桂梅
年人吹尾香

子事子桂梅
年人吹尾香



○相摸屋多架

[illegible]

みどり

中

そと

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

井

玉

玉

玉

山本屋

山本屋

山本屋

山本屋

山本屋

山本屋

山本屋

山本屋

山本屋

山本屋

山本屋

山本屋

山

山

山

三十一

津金屋

津金屋をく

松ヶ枝

清土

松ヶ枝

清土

松ヶ枝

清土

松ヶ枝

清土

松ヶ枝

清土

松ヶ枝

清土

松ヶ枝

清土

松ヶ枝

清土

松ヶ枝

清土

松ヶ枝

清土

松ヶ枝

清土

松ヶ枝

清土

松ヶ枝

清土

松ヶ枝

清土

松ヶ枝

清土

松ヶ枝

清土

松ヶ枝

清土

松ヶ枝

清土



松ヶ枝

松ヶ枝

松ヶ枝

津金屋

山平

松代維新樓 為永作老翁
 崎里袖山 吹雪 歲菊春尾
 無文時松 区初田鋪
 菊月 苑教山 花南 為

京山 金桂名大 柳雲井
 山 己 安 木 山 井

井	天	口	口	口	口	口	口	口	口
新築 為 山	金 石	豐 岳	海 山	湯 浦	水 路	松 林	平 山		
	山	金 所	松 枝	松 枝	香				

山

二

山

山

山

八

八

八

八

八

八

八

八

八

八

八

八

八

八

八

八

八

八

八

八

八

八

八

八

八

八

八

八

八

山

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

武藏屋

九

田
河
天

お
た
ち

お
た
ち
お
た
ち

お
た
ち
お
た
ち

お
た
ち
お
た
ち
お
た
ち

お
た
ち
お
た
ち
お
た
ち

お
た
ち

お
た
ち

お
た
ち

お
た
ち

お
た
ち
お
た
ち
お
た
ち

お
た
ち
お
た
ち
お
た
ち

お
た
ち
お
た
ち

お
た
ち
お
た
ち

お
た
ち

お
た
ち

お
た
ち

お
た
ち

東

東

東

東

東

東

東

大和屋

大和屋

大和屋石之助

大和屋

大和屋

大和屋

大和屋

以爲

《東坡志林》

卷之五

三

聚

○川越屋の

虎

菊代

中
立

丁仲川

半

錦羅亭 錦羅亭
 錦羅亭 錦羅亭

松葉屋

鈴木

鈴屋 繁浦 雛子 春人 常葉 田海 演任 瓦町

●鈴木屋仁助

潮川 郭經 携兄 政梨 政浦 清春 多市 弥生 政尾 梯太
 小松 初系 最毒 成基 美井 美持 千羊 桃代 善那 千秋 万代 松枝

たより
まてより
まてより
まてより
まてより
まてより
まてより
まてより
まてより
まてより

中

丁仲川 跋

坐

子

三朝

三ノ宮

蘇軾

卷之四
 山陰縣志
 卷之四
 山陰縣志

修玉到小畢書院

[illegible]

長崎 江川 月桂 月見 松尾 栗深 雜居

川口屋


 卷之八
 月夜
 楊柳
 等梅
 冥圖
 方山
 川香
 卷之八

小玉毒松の葉を
煮て酒に飲めば
毒が抜ける

きうきうきうきう
のののののの

中

卷之五

五十二

八小宮寺
佛王米
後

名譽人壽山像

蘇州山玉松林井

卷之四

大黒屋

秦州桂木為人壽藥

琴

松雲樓藏書

白 老 七

[illegible]

卷之五

丁鹽產川源

○天竺山雲石

健山

漢書

保生

松屋の井

金華

為其

卷之六

秘

335
カト

仁德

外

千

三

王

七

1

三

10

卷之四

[illegible]

山卷八
陳叔卿
陳叔卿
陳叔卿

丁仲國

卷之四
 四
 四

○江戸屋敷家

江定屋

[illegible]

金田屋

○金田屋五次郎

金女 金山 雲井 清遊 苑山 秋川 白糸 胡蝶
 小糸 常盤 苑岡 善浪 増春 深衣 撫木 小春 遊人
 千代露 八重菊 勝山 松尾 鬼の尾
 くらり くらり くらり くらり くらり くらり くらり くらり くらり

蘇門五代永川陳

八

卷一百五十五

Handwritten text in a cursive script, likely a signature or a list of names, located at the bottom of the page.

書與紅真大舍雲後

雲來



冬小小漢龜龜若若受受
 承承春春托托菊菊明明承承

松山 仙山 雲 金橘 二毒 毒 初花 子年 初花

小橘 肺毒 咳 初老 後後

初花 子年 初花

初花 子年 初花

丁巳花月

全

世徒人松葉
音月 柳花 炎教井

はつもの東いえ花の
下家名の上へ下い

○ 母 孫 長 家

三十六

卯未を死余
きくの八年持

麥中老翁

七
卷

市之衣子衣
方山白刺

金史年表

濟村

燕然去 燕衣
少衣里

より勇ま

鼎

元帝志

道玄堂藏

新刊

卷之八

五女

卷之四

代々美

小游

墨

卷之五

文田之曹松

田所

少思少慮少言
少事少味少色
少味少事少色
少色少味少事

加契也義吉

舉

多
山
之

黒牛也哉

塞下

山王山

小川女史

田町

花山

松田久治

二

漢山玉川ちと書
て氣う玉本あつ

清あやきの

丁力川
永谷寺

琴瑟山出并

物之助

田

○再修長卷

熱

杯

鼎

新刊

卷下

田畝二

田

舉

卷下

日 四

臣等

永代

五

九龍坡中街久
人至山山山

卷之四

田子

萬曆庚申

[illegible]

卷之四

本館藏

小松田松壽先生傳
菊翁海內山

為梅老弟書

蘇長子

善溪泉山

三

高田里田村
高田里田村

すだう

卷之五

食山 冬種 置玉 長山

東坡先生集

子并中

山

卷之四

九人東游臺上黃雲

田川

卷之五

保赤要方

田中玄方

松樹堂書

張金中

後漢書

二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

人
之
口

卷之四

西井之

卷之六

五

七

李長蘅

小

丁仲川

江川屋大蔵

山崎田舎

東家

江川屋

ハクサ
サキ

長木小島

志木大島

江川山

二河大島

大島

智恵大島

大島

志木大島

○二日月

江川山

志木大島

江川山

志木大島

江川山

志木大島

江川山

志木大島

江川山

志木大島

江川山

志木大島

江川山

志木大島

江川山

志木大島

江川山

志木大島

○江川山

卷之五

卷之四

松金屋

九二八十一

入氏宅板う中前門寺代永川渚

[illegible]

三十八

神明助稻荷大明神

位一正

稲荷大明神 稲荷大明神

小井 小井 小井

小井 小井 小井

稲荷大明神

稲荷大明神

山

山

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

稲荷大明神

下

下川中

下川中

下川中

下川中

稻島

中溪

中溪

田二

中溪

中溪

田二

中溪

中溪

田二

中溪

中溪

田二

中溪

中溪

田二

中溪

中溪

田二

中溪

中溪

田二

中溪

中溪

田二

中溪

中溪

田二

中溪

中溪

田二

中溪

中溪

田二

中溪

中溪

田二

中溪

中溪

田二

中溪

中溪

田二

清元民太夫

荻江里八

都六二

富永松太夫

荻江藤三郎

富本新次

鳥羽屋小二次

負崎德二郎

十寸見和洲

富本細大夫

世語

平野屋傳七

同衆

中村南南

漆役並常盤津文錄

岸次造酒藏

役屬

荻江佐吉

同德居丸谷紫曉

かくきんさふあろう

ひろきよむねとさぶらふ

馬ちあふくのふいせ

所入
三
廿
五
志
加

下見方書

まゝに
かよ
む人

トクを女に与ふをせたるを

一、（一）
二、（二）
三、（三）
四、（四）
五、（五）
六、（六）
七、（七）
八、（八）
九、（九）
十、（十）

たきふのちよふらふた

卷之六

是くも人の心あり

つゝあきあきいぬさよ

見らるゝぞいと

中對南有委委金常盛事人錄

十

布袋也卷二	福中や驚八	中世やろん
律や形六	令やひく	今も是也徳持
重本や与来出	田苗や依古	終終末やたけ
長程山勢助糸	川瀬や勇義持	山瀬や意方
九や火渡糸	庭田や万石持	依や清助
珍意や老次糸	田毎や佐七	か辺知や豊義持
赤や寸口糸	云々や長八	此和らや左衛門
衣代平や後肋	能生や佐五	那那馬や鉄持
師子や派助	了也安善糸	お良や安善糸
		李うや吉忠糸

山玄瑤
古大系
紅案架
之文
布之壤
出後之

佐治や千五郎	おひや若右衛門	栄柏や久吉	五代和泉守定基
坂本や長次郎	吉村や市三郎	右所や佐助	長子や傳三郎
穴下や重太郎	黒木や重兵衛	宇田や徳兵衛	阪田や喜次郎
高柳や利吉清	近江や正吉清	杵や佐吉	山本や若右衛門
鶴い甚小吉	佐治や新五郎	森田や長次郎	加八や安六郎
鶴屋左助	松平や孝次郎	柏や代次郎	以三や佐兵衛
松坂や吉吉	中村や清次郎	叶井や政吉	湊や安六郎
いせや弥吉清	山川や良助	中田や半七	掘井や吉吉
拙者や久吉	二河や又吉	和泉や松五郎	甲子や清吉
とんちや源五郎	大上徳や孫助	今よりや正八	森田や清次郎
田川や若右衛門	城家や平藏	高きや常吉	松島や又吉
長崎や金吉	川村や六吉	あびしや赤助	中盛清七
二河や八百蔵	吉沢や新五郎	あつりや忠吉	まふはや吉右
中よりや熱次郎	栗吉や金七	角や金吉	中東や鉄五郎

三河や重吉	小倉や重吉	三河や重吉	越中や金吉
大坂や重吉	林多き重吉	越中や地吉	和泉や助次
大和や友七	東川や木吉	三河や金吉	三河や中吉
後野や多七	越田や以七	大和や久吉	三河や助次
妙光や重助	みのや佐吉	三河や三吉	三河や少七
越中や重吉	妙吉や文助	三河や少七	大坂や万吉
三河や金吉	いそや重吉	越中や市吉	小林や信吉
三河や重吉	越中や新吉	三河や重吉	大和や重吉
中河や清吉	三河や重吉	三河や重吉	越中や金吉
三河や重吉	小川や金吉	三河や重吉	三河や少七
三河や重吉	三河や金七	三河や重吉	三河や重吉
三河や久吉	三河や重吉	三河や重吉	三河や重吉
三河や十吉	大和や重吉	三河や十吉	三河や重吉
越田や重吉	三河や重吉	三河や重吉	三河や重吉

山	谷	堀	船	病	之	部
今	泉	与	右	中	村	也
中	村	也	源	次	行	
辰	巳	也	老	次	行	
之	江	也	右	次	行	
小	橋	也	佐	七		
高	橋	也	清	次	行	
佐	之	也	久	次	行	
鈴	木	也	助	次	行	
中	村	也	老	次	行	

山谷堀船病之部

山	谷	堀	船	病	之	部
今	泉	与	右	中	村	也
中	村	也	源	次	行	
辰	巳	也	老	次	行	
之	江	也	右	次	行	
小	橋	也	佐	七		
高	橋	也	清	次	行	
佐	之	也	久	次	行	
鈴	木	也	助	次	行	
中	村	也	老	次	行	

清勝や加藤	勝吉や岩吉	よりや吉吉	村田や吉吉
大とくや忠七	清村や清吉	川とくや忠八	中泉や万吉
長中や八吉	丁子や長七	大とくや吉吉	石村や小八
三河や吉吉	小や小平次	吉吉や吉吉	大加吉吉
拍や吉吉	林吉や吉吉	松代や吉吉	市川や吉吉
下徳や吉吉	松勝や吉吉	井吉や吉吉	大和や吉吉
栄や吉吉	富吉八吉	天吉や吉吉	川口吉吉
角中村や吉吉			

會所船持之部

金や吉吉	川吉や小吉	お吉や吉吉	中吉や吉吉
長吉や吉吉	今村や吉吉	三河や吉吉	大津や吉吉
新吉や吉吉		海内や吉吉	小や吉吉
大和や吉吉	大和や吉吉	尾吉や吉吉	吉吉や吉吉
上吉や吉吉	松の吉や吉吉	吉吉や吉吉	米吉や吉吉

龍泉寺町茶屋之部

松平や	長谷川や	上田や	中村や	新井や	川口や	平野や	吉川や	新井や	新井や
井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や
井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や
井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や
井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や
井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や
井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や
井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や
井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や
井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や	井筒や



改人 浅草之軒町 小泉屋善兵衛

弘化二乙巳

秋改

版元

飯田町中坂山下屋半兵衛

星野屋源次郎

新

